



留学生と語り合う

No. 65

RKK ニュース (2016 年秋号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

日本語の教え方講習会開講にあたって

日本語支援 6 スタッフ 古谷 清子



RKK 恒例の「日本語の教え方」講習会が 10 月 22 日から始まりました。今回で 21 回目になりますので、本講座をきっかけにボランティアを始めたと言う方も多いのではないのでしょうか？ 斯く言う

私もその一人でありました。

さて、日本語母語話者なら誰でも外国の方に日本語を教えられるかと言えば、必ずしもイエスとは言えないと思います。やはり基本的な日本語のしくみを理解した上でないと難しいのではないかと思います。普段にげなく使っている日本語を、外国語として眺め直して見る視点がどうしても必要になってきます。

RKK の留学生は日本語中級・上級レベルの方が多いので、中・上級のレベルに合わせた指導法の講習会を開いていただきたいとお声を良く聞きます。

もっともなご意見だと思います。しかし、日本語自体に初級・中級・上級の区別がある訳ではないので、初級・中級・上級の区別はあくまで指導上の便宜的なものにすぎません。日本語をよりよく理解するためには、初級段階の文法事項こそがとて大切かと思えます。その土台のうえに更なる日本語上達の道が開かれるのだと思っています。

今回の講習会を、初めて外国人に教えてみるという方にはその入門手引きとして、またベテランの方にはご自分の文法知識を整理する良い機会としてご利用いただければたいへんうれしく思います。

最後に、会場の確保が年々難しくなってきたと同時に、受講生の募集にあたっては、講習内容においてはどこにも引けを取らないと自負はしていますが、受講生は減少傾向にあります。多様な留学生を相手している RKK の会員として、学習者のニーズに合わせた日々の研鑽は欠かせないかと思えます。日本語グループとして、どのような形で会員をサポートするのが望ましいのか、ご意見ご提案などお寄せ頂ければ幸いです。

Opening the Course "How to Teach Japanese"

Kiyoko Furuya

Staff of the Japanese Language Support Group
21st Lecture Course "How to Teach Japanese" will be held from October 22. After finishing this course, many people may start the volunteer activities. Actually I am the one of them.

I think that native Japanese speakers are not always able to teach Japanese to foreigners. Teaching them effectively will be difficult unless Japanese tutor understands the structure of Japanese. Usually, we use Japanese in a casual manner, but when in the course of teaching activities, it becomes really necessary to learn Japanese as a foreign language.

We have heard often of saying "open a middle or a high level Japanese course". It is because there are many international students in RKK at a middle or high level of Japanese. I think that this opinion is reasonable. But there is no classification of Japanese itself, such as primary, middle and high level. Only for the purpose of education, the Japanese language is classified as mentioned above. That being the case, in order to understand Japanese in a better way, learning elementary Japanese grammar is thought to be very important. On the basis of the elemental knowledge of the grammar, the way to progress in teaching the skill of Japanese will be opened in front of you.

It would be grateful if beginner or experienced person receives this lecture course for getting preliminary guidance for teaching Japanese, or for improving knowledge of Japanese grammar, respectively.

Finally, we have a pride of the well planned lecture content, which is by no means inferior to that of any other lectures. Regrettably, reservation of the class room becomes difficult every year, and the number of students continues on the downward trend. In spite of this trend, we, as the RKK member, must improve ourselves to be a better tutor in accordance with the needs of the learner. It is hoped that we could get your opinion and suggestion, showing how to support the member in a better way.

RKK フェスティバル RKK Festival

開催日：11月23日(水、祝日) Nov. 23rd (Wed., Holiday)

場所：かながわ県民センター 301 会議室

Kanagawa Kenmin Center, R301

プログラム 9:30-12:30 日本語スピーチ大会

Japanese Speech Contest

13:00-16:00 文化祭

Culture Exchanges

右コードを読み取って案内チラシをご覧ください。

For details, scan this code and check the flyer.



Late Autumn Study and Stroll with International Students

Date: Dec. 3rd Saturday

Meeting time/spot: 0:30 pm/Gaien-Mae Str.(G03)

Place: TEPIA Advanced Technology Gallery

and Jingu Gaien Ginkgo Festival

For details, scan this code, and

find the above events.

Please register for participation.



留学生からのたより

あた　　かぞく
新しい家族

Muril Ahdia Hasan Ferris 費リス大学文学部
ヌリ アハディア ハサナ フェリス大学文学部
(インドネシア)



外国で勉強することは小さい頃から私の夢の一つである。夢をかなえるために一生懸命勉強した。だから、今は勉強が好きになった。特に言語を勉強することである。高校生のとき、日本語に出会い、もっと勉強したいと思った。そして、今日本に留学している。

実は留学する前にいろいろなことを心配していた。誰も知らず、両親から遠く離れてとても不安になった。インドネシアと日本の文化は違う。私はイスラム教なので、礼拝所のこととか食べ物のこととか困る。もし日本人がジルバブをかぶっている私をおかしく見たらどうするかということも考えた。

ところで日本人友達に「わたしが電子辞書を買おうと思って、どこで買おうだろう？」と聞いたとき、一週間後、彼女から詳しい説明がのせている電子辞書のチラシをもらって、「やさしいな」と思う。チューターさんも勉強が終わってから一緒に美味しいアイスを食べたり、お土産をくれたりし、チューターさんのおかげで日本もだんだんわかるようになった。先生方もいつも優しくしてくれて、困ったことがあったらすぐ助けてくれる。やはり、みんな優しい。いつも感謝している。

日本に来て本当によかった。いろいろなことを体験でき、新しい家族を作れた。わたしにとって日本で付き合った人々は留学という関係ではなく、みんなわたしの家族である。いつでも絶対忘れない。(原文のまま)

ヌリさんとはまだ短いお付き合いですが、暑い夏の間も大学のカフェテリアで本人は不得意と言っている長文読解を中心に日本語の勉強をしました。いつもニコニコしていて優しく、努力家です。短期留学ですが、日本の思い出をたくさん作ってほしいです。(松井)

就活で大切なこと

Arafat Nurhay 阿拉法ト ヌルタイ 横浜国立大学大学院
国際社会科学府(中国 新疆ウイグル)



就活という言葉が日本社会では普及していますが、外国人から見ればとても不思議なことです。何故といえば、「新卒一括採用」という日本独特の採用活動があり、卒業生が同じ時期に選考され、また同じ時期に入社するというような光景が外国では見られないからです。こういった日本独特の制度では日本で就職しようと考えている留学生は日本人学生と比べて優位ではないのですが、グローバル化が進んでいるなかで、日本で就職する留学生も日本企業の留学生採用人数も増加傾向にあります。私も来日してから8年(2017年3月卒業)という学生生活に終止符を打つべく最後の年に入り、日本で就職活動を始めました。

以下では私の就活の体験談とともに、そこから学んだこと・感じたことをお話していきます。

最初に経団連加盟企業による全体のスケジュールを簡単に説明しますと、企業の広報活動が3月から始まり、6月からは選考が解禁され、10月には正式に内定が出て、内定式が行われるのが一般的です。したがって、私の就職活動は今年の1月頃から始まり、ナビサイトの登録→自己分析→選考という流れでした。もう少し具体的にいう

と、まずは情報を手に入れるためにマイナビ、リクナビなどの就職ナビサイトへの登録を行い、次にさまざまな資料を参考に自己分析を行いました。そして3月からはエントリー、WEBテスト、面接という順序に選考が進み、少し遅れながらも9月に都内のIT企業から内定をいただきました。

就職活動においてWEBテスト、エントリーシート、面接等の対策が必要ですが、私は就活において一番大切なことは「自己分析」だと思います。自分に合った仕事を発見するため、まず自分の持っている背景を知り、次に自分の強みと弱みを把握したうえで、将来像を明確にし、それらを合わせて自分のアピールポイントをまとめるプロセスです。つまり、「自分が一番大切にしていることはなにか」を探り出して、自分をセールスすることです。また、最近では企業が学生にオファーを送ることや外国人採用フォーラムなど、採用方法もグローバル化に伴い多様化してきており、留学生も能力を発揮しやすい環境が整ってきています。

であ RKK との出会い

柳 懿秦 横浜国立大学大学院
国際社会科学府（中国）



初めまして、柳と申します。中国大連から来ました。2011年の3月に日本へ来て、現在、横浜国立大学で経済・環境の関係について勉強しています。

私が高校以前に住んでいた大連は、今でも美しい環境に囲まれた綺麗な国際的な都会です。しかし他の都市によっては、環境が酷く汚染されているので、「世界をより綺麗にする」という信念を持ち、環境先進国の日本に渡って勉強に努めようと心に決めました。2011年から環境に関する知見が豊かな日本で研究できて、この上なく幸せです。

勉強で得た知識をほかの人に伝えるとき、一番効率的な方法は文章だと思います。母国語で文章を作るのは作文の基本知識さえ覚えれば、それほど難しくありません。しかし、外国語で文章を作るとしたら、作文の基本以外に、外国語の理解や意味を正しく伝えること等は欠かせないため、とても難しく思います。この問題の解決方法はコツをつかむことです。しかし、ひとりで日本語を勉強しているうちは、いくら努力しても、盲くコツをつかめず、よい成果も上がりません。私が書いた文章は、いつもネイティブの日本人に見てもらえと書いています。

そこで、私の文章を修正していただける人を探したところ、RKKが外国人留学生の日本語支援をしていることを横浜市国際交流協会のホームページで知り、今年の5月からRKKとの縁が始まりました。その時から、村田先生から奨学金の申請書類から、投稿論文に至るいろいろなものを見て頂き、心より感謝しています。博士論文の修正は、日本語のみならず、専門知識も必要となります。先生は私の研究に関する知識をネットで調べたことがあり、ボランティアとしてそこまでしていただき、先生の責任感と親切さをより一層感じました。先生の姿からRKKの素晴らしさを感じています。このようなボランティアが参加して、外国人留学生を支援するのはRKKの他にない特徴と言えるでしょう。

中国で、「投桃報李（人から桃をもらったなら、李をお返しする）」のこのわざがあり、私はRKKから桃を頂いたから、これから、感謝の心を忘れず、助けの心を忘れず、RKKの方々を忘れず、将来日中友好の架け橋になるために頑張っていきます。

注：日本では投桃報李と書き、漢字検定準1級の四字熟語の一つに挙げられています。（編集者）

よこはま夢ファンドのご案内



横浜市にはボランティア団体の活動支援を目的とした「よこはま夢ファンド」という制度があることをご存知でしょうか。本ファンドへの寄付を通じてRKKの活動を支援して頂けます。ご協力をお願いします。



社会・工場見学

かわさき zero emission こうぎようだんちおよび とうあせきゆ かぶ けいひんせいゆじよけんがくき
川崎ゼロエミッション工業団地及び東亜石油（株）京浜製油所見学記

Trish Thi Thae よこはまこくりつだいがく Vjetnam
テン ティ タオ 横浜国立大学（ベトナム）



わたしはベトナムから来たテン ティ タオと申します。

今、横浜国立大学の1年生で建築都市・環境系学部の都市基盤EPに所属しております。今回はRKKの見学に初めて参加し、いろいろ勉強になりました。

9月15日に川崎ゼロエミッション工業団地に行きました。最初は川崎エコタウン会館で川崎市の方からエコタウンの取組について説明していただきました。都市計画に興味を持っているので、説明をよく聞いて、川崎エコタウンでは排出資源や市内で発生する廃棄物を企業間で循環し、有効に活用しているということがわかりました。説明後、

三光精工という川崎ゼロエミッション工業団地の1つの企業で、メッキ設備を見ました。メッキ加工では多くの公害物質が発生するにもかかわらず、個々ではリサイクルされ、少し工場外に出していないことは非常に素晴らしいと思いました。そして、工場働いている技師を見て、このメッキ加工は気配りの要る仕事だと気づきました。食事後、20分程度の交流会を行い、みんなでごみの話題について話しました。

私は自国の製鉄会社の排水問題について話しました。交流会の後で東亜石油(株)京浜製油所に向かいました。会社の方の説明によって、原油からガソリンや灯油や軽油に分解する過程がわかりました。特に興味があるのは世界に5基、日本に1基しかない重油分解装置です。説明後、3グループに分かれて、会社の方の案内で構内を徒歩で見学しました。こんな大きい工場を初めて見学しましたので、好奇心がすごく沸いて、いろいろ聞きました。そして、自国では現在製油工業が発展しているので、こんな素晴らしい技術があればいいなと思いました。

今回の見学のおかげで、最も感心されるのは技術が経済ばかりではなく、環境を壊さないように配慮されているということです。最近、工業活動で環境問題がだんだん深刻になっている自国のことを思い浮かべ、自分も将来、国に何か貢献したいと考えています。そして、日本の素晴らしい技術をもっと学びたいと思って、今後ぜひRKKの社会工場見学に参加できればと思います。（原文のまま）



東亜石油(株)京浜製油所

第60回 RKK 社会・工場見学報告

川崎エコタウン会館で川崎エコタウンにおける資源・エネルギー循環の取組について説明を受けた後、工業用(硬質)クロムメッキ加工を行っている三光精工を見学した。三光精工ではメッキの廃液を工場外へ一滴も出さない循環型クロムズシステムを開発・採用し、メッキ工場特有の臭異も殆どなく、クリーンな環境と共にゼロエミッションを実現されていることが実感できた。

東亜石油さんでは、タンカーで到着した原油を蒸留装置でガソリン、灯油、軽油、重質油などに分離し、重質油は世界で5基、日本には一基しかない高さ70mの巨大な重油分解装置でさらにガソリン、軽油などに分解すること。工場内に設置された膨大な設備群と、延々とはりめぐらされた配管類は2～3年に1回、操業を2カ月間停止して全点検されるという予想外のお話を伺うこともできた。(山口 記)

新入正会員のみなさまへ：よろしくお願ひします！

平澤彩香（緑区）、文 陽（港北区）、竹山 満（旭区）、（敬称略）

グループ活動の紹介

桂林（グイリン）の絶景世界遺産と龍勝柳田巡りの旅

中国語学習グループ 山崎 令臣



この度の旅は、4年前に行った研修旅行の台湾一周の旅以来のことでした。6月24日に成田立ち29日帰国しました。参加者はRKK会員とその家族や友人で女性8人、男性5人でした。旅の目的地桂林は少数民族の広西チワン族自治区の主都で観光産業、繊維物や医薬品産業などを生業としております。自然に恵まれ、人々は穏やかで、中国で高度経済成長をなしている他の経済・工業都市に比較して異なる印象を与えられました。

桂林と言えば何といっても観光のハイライトは世界自然遺産「漓江の舟下り」です。竹江から陽朔までの約4時間半の遊覧で、左岸、右岸に次々とめくってくる有名な景勝地や少数民族の若者の手漕ぎの小舟の行き来は見るにつけ悠久の水墨画の世界に知らず知らず引き込まれました。

もう一つの景勝地龍勝柳田に行きました。柳田は能登の柳田を一回りスケールを大きくしたもので少数民族が几帳面に整然と耕しており、季節的には日本とほぼ同じで稲が作られています。

このほかに観光したところやグルメなどについて書きたいことがありますが紙面の都合で割愛いたします。最後に、旅の予定は4泊5日でしたが5泊6日となりました。これは天候不順のため、行きは上海桂林間が欠航で上海泊り、帰りは上海成田間が欠航でまた上海泊りとなりました。この時期は、日本での梅雨時の低気圧の発生源がこの地方なので天候不順になるのだといわれていました。中国旅行するなら初秋が最適だそうです。

所で、語学研修旅行と銘を打ちましたが、このようなトラブルに見舞われると我々の語学力で歯が立たないと、つくづく思い知らされました。今後の研鑽あるのみです。来年も旅行を実施する予定です。多くの方のご参加をお願いいたします。

秋（9月）のコンサート鑑賞 & 雑感

文化・ファミリー交流グループ 鈴木 次男

秋（9月）のコンサートは県立音楽堂でロマン派の代表的な名曲シューマン／交響曲第4番&メンデルスゾーン／交響曲第3番「スコットランド」他を鑑賞しました。演奏は久し振りの（指揮）原田重一／横浜管弦楽団でした。このコンサートにはRKK会員と中国語教室の仲間を含めて12名が参加しました。特異（？）な指揮者として有名な原田重一さんの名解説&指揮で横浜管弦楽団による大変素晴らしい演奏だったと思いました。中でも管楽器（特にホルン等の金管楽器）の演奏がとても素晴らしいと思いました。

ここ10年ほどアマチュア・オーケストラによるコンサートを鑑賞していますが、年々演奏のレベルも上がって来ていると思います。演奏レベルは兎も角、ここ数年のコンサートは楽器編成が大規模なマラー、ブルックナーの交響曲、又は独唱・合唱付きの特に有名なベートーヴェン／第九「合唱付き」やビゼー／オペラ「カルメン」やモーツァルト、ヴェルディ／レクイエム等の様な大曲の演奏が増えてきていると思います。又最近には特に横浜交響楽団の演奏も良く鑑賞する機会が多いのですが、横浜交響楽団の特徴は「青少年のための音楽会」と言われていますが、季節により特徴的な演奏プログラムが楽しめます。例えば7月のサマーコンサートは児童バレエ教室による子供たちのバレエ付きのチャイコフスキー／バレエ組曲「白鳥の湖」が演奏されました。そして10月の秋本番のコンサートは独唱・合唱付きのカール・オルフ／オラトリオ「カルミナ・ブルーナ」の大曲が演奏されます。

そしてコンサート後は、お決まりの居酒屋での反省会「小酌」となりました。反省会には8名が参加しましたがコンサートに初参加の方久し振りに参加された方もいましたのでお互いの自己紹介から始まり、今日のコンサートの感想や一般的な音楽の趣味などの話を酒の肴・つまみにしての有意義な楽しい反省会となりました。



絵画展に行こう！



今年も、戸塚美術協会は、地域交流特別絵画展を9月28日から10月3日にかけて、戸塚区民文化センター「さくらプラザ」にて開催しました。総数126点の水彩、油彩、アクリル、パステルで描かれた作品が展示され、RKK文化・ファミリー交流Gスタッフの大久保さんが15号サイズの油絵を出品され、絵の好きなRKK会員も鑑賞されていました。芸術の秋です。各地で絵画展が開かれています。留学生を誘って絵画展に行きましょう。（萩原 記）

私の日本語支援

ほんかくしどう ほそ なが つづ こうりゅう め ぎ
本格始動！細く長く続く交流を目指して

ちゆうおうらく にしゅうら
中央地区 西浦 けい子



RKKには今年の4月に入会させていただきました。以前、地域の日本語教室でボランティアをしていたことがありましたが、引越し等環境が変わり、しばらく遠ざかっていました。その時にはほとんど経験を積みませんでしたので、改めて日本語支援をしたいと思うようになり、ネット検索で出逢ったのがRKKです。

入会してからさっそくマッチングをしていただき、横浜国大の大学院生であるご主人と一緒にベトナムから来られた、ゴー・タオさんという可愛らしい方をご紹介いただきました。

タオさんは平日働いていますが、日本に住んでいても日本語を話す機会がありませんとお話だったので、週一回のペースで特に会話のコミュニケーションを増やすことを目的に日本語支援を行っています。

国は違うとはいえども、女性同士のたわいもない話や料理の話、旅行の話など、毎回楽しんで会話をしています。

試験対策という訳ではないので文法的に難し過ぎることは行っていないですが、それでも教える方に苦慮する時があります。私たち日本人が無意識に使っている言い回しほど説明が難しいと痛感します。10月11月に日本語の教え方講座を受講しますので、今後は教授法を学びながら、定期的な日本語支援でその成果を実践できる機会が増えたらいいなと考えています。

元々日本語支援に興味を持ったのは、私自身留学経験があり、国際交流や留学生支援に興味があったことがきっかけです。今は逆の立場で、せっかく自国の日本に来られた外国人の方々にできる限り日本を知っていただき、安心して思い出に残る滞在をしてもらうためのサポートを続けていきたいと思っています。

おもな活動 (2016/8 から 2016/10 まで)

スタッフミーティング

◇9/25 午後、サポートセンターR711にて24人のスタッフの参加のもと、2016年度第2回スタッフミーティングが行われ、恒例の活動グループ、地区交流会、委員会それぞれから、C&C(報告・連絡そして相談)が実施された。ディスカッションタイムは「RKKフェスティバル2016について」話し合った。

活動グループ

- ◇日本語支援G:日本語の教え方講習会全5回の開催。(10月22日～11月20日)
- ◇文化・ファミリー交流G:8月のKANAFANのイベントにて「囲碁交流」を実施。クラシック音楽鑑賞会推進。
- ◇中国語学習G:9月から11月までの学習会には、12人が受講中。
- ◇社会・工場見学G:9/15 川崎ゼロエミッション工業団地、(株)東亜石油見学に17人が参加。

地区交流会

- ◇東地区:7/10に9人が参加して交流会を実施。次回は11/13を予定。
- ◇西地区:7/31の交流会には14人が参加。次回は10/30を予定。12月の戸塚お結び広場の準備開始。
- ◇南地区:9/24に中区民活動センターで交流会を実施。10/9の「なか区祭り」に参加。
- ◇北地区:7/23「みなくる」での地区交流会に13人参加。次回は12/10に中華レストランで実施予定。
- ◇中央地区:10/30に交流会を実施予定。
- ◇湘南地区:9/6に9人で交流会を実施。次回は12/6を予定。

委員会

- ◇会員委員会:9/25 マッチング検討会を実施。
- ◇広報委員会:RKK ニュース 65号の編集。ホームページのコンテンツ更新。
- ◇就活情報支援委員会:9/30に委員会を開催。RKK会員向けアンケート調査を推進。
- ◇企画委員会:夢ファンド、寄附、賛助会員入会の推進。
- ◇会計委員会:月次収支決算。ネットでの入金確認を導入済み。
- ◇事務室:NPO事業報告書の作成と提出。登記事項変更処理。スタッフミーティング準備。

トピックス

KANAFAN special support week いごうりゅう かなファンスペシャルサポートウィークで囲碁交流



恒例の「かながわ国際ファンクラブスペシャルサポートウィーク 2016」の初日、8月20日(土)に、RKKは「GO Meeting」「囲碁で交流しよう!」を主催しました。ファンクラブに集まった留学生・日本人のなかで、囲碁に興味のある参加者に、囲碁の初歩を教えたり、実際に対局し、楽しい囲碁を通じての国際交流の場となりました。文化・ファミリー交流Gの活動として囲碁交流を推進している 大田顧問、山口(晴) 会員、大久保会員、まつ岡会員がサポートしました。(萩原 記)

よこはまこくりつだい みづき かい さんか 横浜国立大 観月の会 (Moon Viewing Party) に参加

恒例の横国大学長主催の外国人研究者・留学生を対象とした「観月の会」が10月13日の夕べに大学の「れんが館」にて開かれました。美味しい食べもの、飲み物が用意され、民族衣装の披露、和太鼓演奏など多彩なパフォーマンス



を楽しみながらの盛大な交流会でした。受付係のお話によると、準備した500枚のパンダナが足りなくなった程の参加者数であったとのことでした。RKKからは大田顧問、深水、山岸、津田、萩原が参加しました。大田顧問は、10年前に日本語学習支援をした元留学生で、現在、中国の山東大学で助教授をされている張岩さんと偶然、会場で再会するという感激一幕もありました。(萩原 記)

よこはましりつだいがく しんにゅうりゅうがくせい あきにゅうがく かんげいかい しゅつせき 横浜市立大学の 新入留学生 (秋入学) 歓迎会に出席して



横浜市立大学にこの秋に入学された留学生の歓迎会が10月17日に催され(留学生会主催)、津田、橋本、鈴木(次)、岩瀬の計4名で参加してきました。今年は25名の方が入学されたということです。歓迎会は岡田副学長のスピーチで始まり総勢75名での歓迎交流が、金沢八景キャンパス シーガル食堂で繰り上げられました。この場では日本人学生は日本語

ではなく英語での会話が普通のように、応援団による勇壮な演舞と校歌斉唱が会場の雰囲気をおいに盛り上げました。歓迎の会話の中ではRKKの活動に関心を持たれた留学生も何人かいて、お互いを知る良い機会でした。(岩瀬 記)

就活情報支援委員会からのお知らせ

2018年4月入社の就活スケジュールが経団連(会員数1340社)から発表されました。2017年4月入社と同じ日程ですが、改めて就活スケジュールをお知らせいたします。

- ・ ~2017年2月末日: イターンシップ
- ・ 2017年3月1日~: 会社説明会、校舎及びセンター等
- ・ 2017年6月1日~: 筆記試験、面接等(逐次内々定)
- ・ 2017年10月1日~: 採用内定

なお、経団連非加入企業(IT系、中堅・中小企業等)では、会社説明会等を早めに進めることがあります。複数の留学生の就職体験記(RKKニュース2016年新年号)には、インターンシップへの参加、自己分析をしっかり行うことの大切さを示されています。日本で就職することを希望する留学生との語り合いでは、スケジュール、自己分析作成状況などを確認しあうことをお勧めいたします。

就活情報支援委員会では、就活に関するより良い情報の提供・支援を目的に、会員の方を対象に「留学生への就活支援に関するアンケート」を実施中です。ご協力のほどよろしくお願いたします。 就活情報支援委員会

留学生の皆さんへ／For International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- 日常会話 (Daily Conversation)
- ビジネス会話 (Business Conversation)
- 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Theses & Reports)
- 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- 就職活動 (Job Hunting・Entry sheets/Interviews)

Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact: 津田(Tsuda) e-mail sakura_tsudakei@ybb.ne.jp

Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Scan this code for getting application form.



地区からの便り

西地区の活動状況

西地区 前田 六生



現在 32 名と 6 地区で最多の会員を抱えています。RKK 創立当時ベテラン会員が多いのも特徴で、地区交流会(開催場所: フレズ戸塚)が、新会員を交えた活発な情報交換の場となり、相互に刺激し合い、新たな活動のヒントが生まれる場になっているようです。

日本語学習支援では、従来の横国大、横浜市などに加え、フェリス学院大の短期留学生の支援が軌道に乗って来ました。欧州出身の留学生も含まれており、対象国の拡大に

も寄与しています。文化・ファミリー交流では、元 IMP 留学生との交流が続いている例も少なくなく、恒例の「花見会」「七夕祭り」は当地区会員が中心となるなど地道な国際交流が行われています。なお新たな動きとして、明治学院大との関係作りを目標に掲げ、事務局及び国際センターとの面談を申し込んでいます。



フレズ戸塚

活動の写真を展示…なか区民活動センター祭り

南地区 植竹 光枝



RKK南地区は 10 月 9 日(日)に中区のなか区民活動センターで開催された「なか区民活動センター祭り」に参加しました。横浜公園、大通りで行われた中区区民祭り「ハローよこはま」と同時開催でした。私たちの活動を紹介することと会員の獲得をメインのテーマに毎年参加しています。一年の活動を紹介するためにお花見、七夕、工場見学などの活動の写真の展示を行い、大勢の方が足を止めて見てくださいました。

南地区のメンバー3名と中国からの留学生、王晶さん、白雨生さん、歐薇さんが、展示ブースで会場を訪れた方たちと言葉を交わし、まさに国際交流が行われました。日本語ボランティアに興味を持った方からの質問に答えたりして、普段の活動もアピール出来ました。生憎の雨模様でしたが、多くの市民の方々と触れあうことができた1日でした。

NPO 法人 留学生と語り合う会

連絡先: 〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール: rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax: 045-813-8327

ホームページ: <http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集: RKK 広報委員会 秋号担当 村田 威雄 Oct. 25, 2016

